

第26回 中学生海外派遣団 研修報告会並びに解団式



【表紙の写真】 オーストラリアの文化を体験してきました

目次

決算審議	2
定例会概要	8
総括意見書	11
一般質問	12
委員会活動	18
トピックス	20

みぶ ギカシ

No. **210**
2024

R6 9月定例会

9月
定例会

令和5年度

決算を認定

子ども・子育て支援や教育環境を充実させるとともに、魅力あふれるまちづくりを推進

一般会計

歳入 168億1,571万9,865円

歳出 160億9,125万3,755円

特別会計

歳入 84億6,428万1,503円

歳出 81億7,871万4,623円

※特別会計…国民健康保険特別会計、奨学資金特別会計、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計

町の民の方の声

うえだ すぐる
上田 卓さん

壬生町は公園や病院が多く、子育て環境が充実していると感じています。
とても住みやすい町だと思います。

なかがわ すすむ
中川 進さん

農家は、後継者不足、高齢化が深刻化しています。
圃場整備により、作業が効率化され、農業が活性化してほしいです。

令和5年度の主な事業（抜粋）

メタバース活用教育推進

5,294万円

インターネット上の仮想空間を活用



子どものための 教育・保育給付事業

11億9,014万円



コミュニティセンター 整備事業

5,184万円

睦地区コミュニティセンター
建築工事



おもちゃ博物館管理 運営事業

維持管理 **3,686万円**
改修等工事 **1億4,730万円**



六美町北部土地区画整理 支援事業

2億9,483万円



圃場整備推進

7,596万円

下稲葉地区
上稲葉地区
安塚・上長田地区



消防費

6億7,548万円

石橋地区消防組合負担金
消防団員報酬等



バリアフリー化整備事業

2億1,635万円

おもちゃのまち駅に
エレベーター設置



物価高騰対策応援券配布事業

1億3,787万円

町内全世帯に町共通商品券を配布



令和5年度決算を審査しました！

令和5年度各会計決算について、「税金が適正に使われたか、本当に必要な事業なのか」各常任委員会は9月4日から18日まで慎重に審査を行い、各常任委員長が本会議で報告をしました。ここでは、各常任委員会が出された質疑の一部を抜粋、要約しています。

総務常任委員会



小川委員長

委員長
副委員長
委員

小川 律男
後藤 節子
落合 誠記
田村 正敏
遠藤 恭子
田部 明男

公用車購入事業で、290万円が未執行だが理由は。



落合委員

答 電気自動車、水素自動車、プラグインハイブリット自動車以外は起債の対象外となったため、

令和5年度は入札等を行います。現在は電気自動車の導入を検討しています。

職員健康管理事業で、メンタルヘルス等の対象となった職員数は。



田村委員

答 令和5年度は4名、今年度は現時点で2名が1ヶ月以上の病気休暇を取得しています。

消防団が休部になった地区があるが、現状は。

答 現在休部中の3・4助谷・助谷原地区で、まずは自治会として自主防災組織を立ち上げ、防災意識の高揚に繋げ、候補者を選出できればと考えています。

町内各施設の現金の保管状況と徴収方法は。



遠藤委員

答 出先機関、本庁含め、収入金の取り扱い、町の現金収納事務取扱要領の定めに従い、速やかに調定を行い指定金融機関に払い込んでおり、公金は厳重に保管しております。

広報みぶの発行は、今後、DXの時代で、デジタル版が主になるのか、今まで通り紙面版が主なのか。



田部委員

答 DX化が進んでいく中で、スマホで見る利用者が増えれば、紙面版の割合が減っていくかと思いますが、紙面版が必要な方

も必ずいます。虹の杜自治会では、デジタル回覧板を試験的にやっているところです。



消防団の活動の様子

教育民生常任委員会



中川委員長

委員長	中川 和典
副委員長	玉田 秀夫
委員	大島 菊夫
〃	鈴木 理夫
〃	戸崎 泰秀

学校給食将来構想策定事業の内容の詳細は。



玉田副委員長

答 『自校式』、『親子式』、『センター方式』の3パターンを比較しました。今後50年の経費を試算したところ『センター方式』が最もコストが低いと結論付けています。

音楽鑑賞会等公演の内容の決め方は。

答 町で委嘱している審議委員があり、その審議会で決定しています。各企画会社から提案された様々なプランの中から、予算の範囲で、組み合わせを何種類か示し、その中から決定しています。

今後、コロナのワクチン接種について町の補助はあるのか。



大島委員

答 高齢者等を対象とした定期接種では補助があります。ワクチン接種費用が概ね1万5,300円の見込みです。内訳は自己負担が3,500円、町負担が3,500円、国の助成が8,300円です。

結婚新生活支援事業の要件は。

答 年齢が39歳以下、世帯の所得が500万円未満の場合、上限30万円の支援をしています。さらに年齢が29歳以下の場合は上限が60万円となります。



鈴木委員

学校体育施設を公共施設予約システムにより予約することはできるのか。



戸崎委員

答 学校体育施設は、クラブ活動を行っている団体が利用し、月一回の会議で調整しています。インターネットでの予約は調整が難しいことから、現時点では、公共施設予約システムは使っていません。

委員会での主な意見

- ◎介護施設の運営が厳しい状況なので、町としての支援をしっかりと考え対応していただきたい。
- ◎児童館は老朽化しているが、子どもたちが安全に過ごせるよう、設備を充実させていただきたい。

建設経済常任委員会



大山委員長

委員長

大山 博

副委員長

坂田 昇一

委員

赤羽根信行

〃

小牧 敦子

〃

榆井 将太

下水道事業会計で、修繕費が前年の約1・82倍となった理由は、



坂田副委員長

答 マンホールの高さ調整、ポンプ場の自動通報装置や水位計の修理、汚水ポンプ配管の老朽化による修繕工

事等が必要となり経費がかかりました。

昨年7月の農業委員改選で、女性農業委員が誕生したが、女性特有の取り組みはあったか。

答 町内の小学校で発酵食品を内容とした食育活動や講話を実施し、また、発酵食品を使った給食を食べてもらい、農業への意識啓発を図っています。

新産業団地の進捗状況は。



赤羽根委員

答 用地交渉・用地買収を進め、土地は約85%取得しています。現在、開発申請を行っており、今年の冬頃に地区外排水管から工事に入れるよう進めています。

清掃センターの基幹的改良工事が完了したが、経費節減の効果は出ているか。



小牧委員

答 運転方法が変わり、通風機の更新・送風機をインバーター制御に更新したことで、重油量が年間約60㎏から約18㎏に減少し、金額にして500万円ほど、また、電気料金が年間1千200万円ほど削減できています。

空き家バンクの活用は、増えてきているか。



榆井委員

答 令和5年度末時点で、空き家バンクの物件登録累計が25件、利用登録

委員会での主な意見

◎コミュニティバスは壬生町民の公共交通であり、買い物が困難な地区の方々も利用できるよう、いろいろな面での検討をお願いしたい。

された方の累計が51件となり、徐々に空き家バンクの認知度が上がっています。

決算認定討論

(要旨)

定例会最終日の本会議において、各会計令和5年度決算認定に対する採決に先だち、賛成・反対の討論が行われました。

議案第13号

令和5年度壬生町一般会計歳入歳出決算認定について



反対 物価高騰等が起こる中、「町政が町民の皆さんの暮らしを守っているのか、守ろうとしているのか」が評価の基準となってくるが、不十分であると考えられることから反対します。

(田部明男議員)



賛成 未来を見据えた戦略的な予算執行が行われており、町が直面する課題に対し財政的な健全性を維持しつつ、町の将来に向けた基盤を築くための施策が着実に実行されている決算になったことから賛成します。

(坂田昇一議員)

議案第14号

令和5年度壬生町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

反対 多額の不納欠損処分が生じたが、保険料が高く払いきれないためではないか。一般会計からの繰入も十分でなく、被保険者の健康を守る制度として不十分であることから反対します。

(田部明男議員)



賛成 納付機会の拡大や滞納対策に努めた結果、前年度を上回る収納率を維持している。また諸施策の実施により被保険者の健康維持を通じて将来的な医療費の抑制に取り組むなど、制度の趣旨を十分に生かす努力がなされているため賛成します。

(赤羽根信行議員)

議案第16号

令和5年度壬生町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

反対 国費による十分な補填や一般会計からの繰入を増やし利用者負担の軽減を図るべきだが、その施策が十分とは言えず、介護を必要とする住民の願いに応える制度になっていないことから反対します。

(田部明男議員)



賛成 保険料の収納率向上のための取り組みなど財源確保に留意しており、介護・支援ニーズの多様化に応えるため、適正な保険給付と適切な事業実施により、健全な財政運営に努めていることから賛成します。

(玉田秀夫議員)

議案第17号

令和5年度壬生町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

反対 保険料が生活費を圧迫し払いたくても払えない保険料となっている。制度自体が高齢者医療を担うものになっていないことから反対します。

(田部明男議員)



賛成 被保険者の理解のもと保険料収納率は99.6%と高い水準を維持しており、後期高齢者医療広域連合との連携により、高齢者の健康維持に向けた事業が実施されていることから賛成します。

(楡井将太議員)

定例会
概要条
例壬生町町民活動支援セン
ター設置及び管理条例を制定

旧庁舎跡地において、地域経済の発展・振興やまちづくり・コミュニティ活動の活性化等を目的とした施設整備が進められており、整備中の「ひばり館」を新たに「壬生町町民活動支援センター」として設置するとともに、適正かつ適切な施設の管理と運営を図ることを目的に現行条例の全部を改正するものです。本会議で審議の結果、全会一致により可決しました。

壬生町国民健康保険条例を
一部改正

令和6年12月2日付をもって、国民健康保険の被保険者証が廃止となるため、同条例第13条において「被

令和6年第3回定例会は、9月3日に招集され9月24日までの22日間の会期で開かれました。

町長から提出された条例の制定1件、条例の改正1件、県後期高齢者医療広域連合規約の変更1件、財産の取得2件、人事案件2件、補正予算5件、未処分利益剰余金の処分2件、決算認定7件、報告2件が上程され、いずれの議案も原案のとおり可決しました。

保険者証の返還を求められてこれに応じない場合」の罰則を定めた条文の該当箇所を削除するため、条例の一部を改正するものです。本会議で審議の結果、全会一致により可決しました。

人
事
案
件壬生町教育委員会委員の任
命に同意

令和6年10月31日をもって任期満了となる、宇賀神真佐江氏を任命（再任）することに同意しました。

壬生町固定資産評価審査委
員会委員の選任に同意

令和6年9月30日をもって任期満了となる、増山裕司氏を選任（再任）することに同意しました。

選挙管理委員会委員
及び同補充員を選任

令和6年10月31日に任期満了となる選挙管理委員会委員4名及び同補充員4名の選挙を行い、次の方が当選されました。

○ 選挙管理委員会委員



おおはし こういち 氏
大橋 好一 氏
(壬生甲)



わたなべ とし お 氏
渡邊 稔夫 氏
(上稲葉)



おおやま ひろし 氏
大山 宏 氏
(本丸)



いなげ た み き お 氏
稲毛田 美紀夫 氏
(安塚)

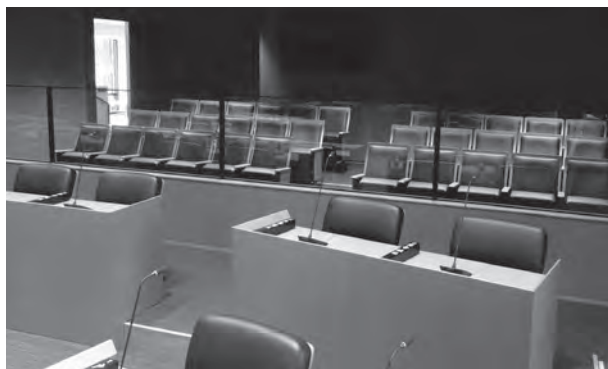
○ 選挙管理委員会補充員

手塚 代志子 氏 (大師町)
越路 治美 氏 (下稲葉)
三上 賢一 氏 (上稲葉)
渡邊 好央 氏 (中泉)

令和6年度 補正予算（令和6年9月定例会可決）

会計名等		補正額	補正後の予算	補正の主な理由
一般会計（第2号）		5億2,414万円	162億8,393万9千円	普通交付税の確定、並びに令和5年度の決算に伴い財源の全体的な見直しと、施設の適正な管理のために緊急を要する修繕、職員の異動等による職員給与費の過不足額を計上したもの。 【歳入】 ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 3,692万2千円 ・子ども・子育て支援交付金 587万1千円 ・子ども・子育て支援事業費補助金 524万円 【歳出】 ・児童手当扶助事業 1億1,493万3千円 ・新型コロナワクチン接種事業 7,913万円 ・物価高騰対策新たな低所得世帯等支援事業 2,206万9千円
特別会計	国民健康保険（第1号）	1億4,807万5千円	39億9,140万1千円	マイナ保険証対応に伴うシステム改修委託料の計上及び令和5年度事業実績確定による精算額を計上したもの。 【歳入】 ・国保連合会返還金 2,038万2千円 ・特別調整交付金（市町村分） 267万円 【歳出】 ・国民健康保険財政調整基金積立金 1億781万3千円
	介護保険事業（第1号）	1億7,740万1千円	36億186万9千円	令和5年度の事業実績が確定したことによる精算のための所要額を計上したもの。 【歳入】 ・現年度分地域支援事業交付金（介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業） 628万5千円 ・介護保険保険者努力支援交付金 585万6千円 【歳出】 ・償還金 1億2,451万6千円 ・認知症施策推進事業 1,584万2千円
	後期高齢者医療（第1号）	465万5千円	6億6,285万7千円	令和5年度事業実績確定による精算額を計上したもの。 【歳入】 ・繰越金 590万7千円 【歳出】 ・広域連合納付金（徴収保険料） 234万8千円
	下水道事業会計（第1号）	収益的支出 378万8千円 資本的収入 2,820万円 資本的支出 2,922万6千円	15億8,562万8千円 9億2,477万3千円 14億5,890万9千円	施設の適正な管理のために緊急を要する修繕費用、新たに必要になった仮設費や資材費の増加分等の支出、その増加に伴う企業債等を計上したもの。

議会の傍聴に来ませんか？

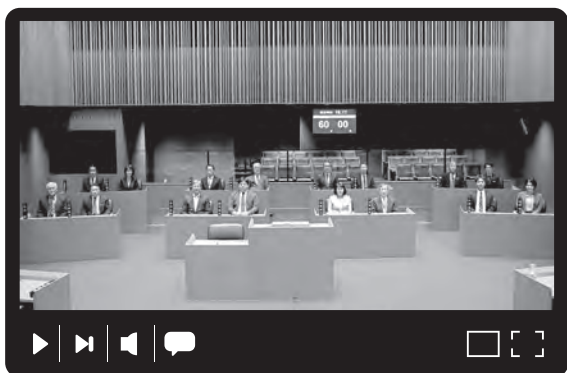


議会是一般に公開されており、傍聴は議員の活動に触れることのできる最も身近な方法です。

議会事務局の受付カウンターで「傍聴人受付簿」に氏名・住所を記入いただくだけで、どなたでも傍聴できますので、ぜひお越しください。

次回の定例会は11月29日(金)からの予定です。

▶ 一般質問の模様をインターネットで録画配信しています。



壬生町議会では町民に開かれた議会を目指し、様々な取り組みを行っています。その一つとして、インターネットで一般質問の録画配信を行っています。

一般質問の模様を、パソコンやスマートフォン等で視聴することができますので、ぜひご覧ください。



こちらの二次元コードまたは町公式ウェブサイト内の議会ページからご覧いただけます。

令和6年9月壬生町議会定例会議決結果と賛否状況

※田村正敏議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議 案 名	議決結果	大山博	小川律男	中川和典	榎井将太	後藤節子	田部明男	戸崎泰秀	遠藤恭子	赤羽根信行	小牧敦子	坂田昇一	玉田秀夫	鈴木理夫	大島菊夫	落合誠記
議案第1号	壬生町町民活動支援センター設置及び管理条例の制定について (整備中の「ひばり館」を新たに「壬生町町民活動支援センター」として設置し、適正な施設の管理と運営を図ることを目的に現行の条例の全部を改正するもの)	原案可決	○	○	○	○	斜線	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	壬生町国民健康保険条例の一部改正について (国民健康保険被保険者証の廃止に伴い、条例の一部を改正するもの)	原案可決	○	○	○	○	斜線	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	栃木県後期高齢者医療広域連合規約の変更について (後期高齢者医療被保険者証の廃止に伴い、規約の一部を変更するもの)	原案可決	○	○	○	○	斜線	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	壬生町教育委員会委員の任命について (宇賀神真佐江氏を任命することに議会の同意を求めるもの)	同意	○	○	○	○	斜線	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	壬生町固定資産評価審査委員会委員の選任について (増山裕司氏を選任することに議会の同意を求めるもの)	同意	○	○	○	○	斜線	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	令和6年度壬生町一般会計補正予算(第2号)決議について	原案可決	○	○	○	○	斜線	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	令和6年度壬生町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)決議について	原案可決	○	○	○	○	斜線	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	令和6年度壬生町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)決議について	原案可決	○	○	○	○	斜線	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	令和6年度壬生町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)決議について	原案可決	○	○	○	○	斜線	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	令和6年度壬生町下水道事業会計補正予算(第1号)決議について	原案可決	○	○	○	○	斜線	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	令和5年度壬生町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決	○	○	○	○	斜線	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	令和5年度壬生町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決	○	○	○	○	斜線	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	令和5年度壬生町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	斜線	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	令和5年度壬生町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	斜線	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	令和5年度壬生町奨学資金特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	斜線	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	令和5年度壬生町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	斜線	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	令和5年度壬生町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	斜線	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	令和5年度壬生町水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	斜線	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	令和5年度壬生町下水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	斜線	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	財産の取得について(追認) (教師用の教科書・指導書及び指導資料の購入について、(有)イズミコーポレーションとの随意契約による令和2年度取得分について、議会の追認を求めるもの)	原案可決	○	○	○	○	斜線	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	財産の取得について(追認) (教師用の教科書・指導書及び指導資料の購入について、(有)イズミコーポレーションとの随意契約による令和6年度取得分について、議会の追認を求めるもの)	原案可決	○	○	○	○	斜線	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対 斜線：欠席

令和5年度

決算の審査

総括意見書（概要）



議員選出監査委員
遠藤 恭子 議員



代表監査委員
熱田 幸一 氏

■ 決算審査とは

毎年7月から8月にかけて、代表監査委員と議員選出監査委員とが前年度の一般会計、特別会計、公営企業会計の決算内容等について、適正な予算執行がなされていたか、関係証書類と数値が合致するか、などを審査するものです。

■ 審査の内容及び結果

今年度は7月16日から31日にかけて実施され、両監査委員が各課局の担当者との質疑などを通して厳正に監査した結果、予算の執行は概ね適正と認められました。

また、公営企業である水道事業会計については安定した経営状態が維持されていることを確認し、同じく下水道事業会計については今後施設の更新費用が増加するため、一層の経営努力を求めました。

さらに健全化判断比率等についても審査を実施し、赤字額や資金不足等は生じていないため、是正改善を指摘するような項目は特にありませんでした。

■ 主な要望事項

- ・ 随意契約で実施してきた事業についても、経済的に有利性のある入札方式を採用できないか、今一度検討するよう求めました。
- ・ 事業量が年々増加している状況に対して、職員の数が足りていないように感じられるため、人材の確保や育成にも特段の配慮をしていただき、全ての町民に安定した行政サービスが届けられるよう要望しました。

その他の主な監査

- ・ **定期監査**……毎年度少なくとも一回以上、期日を定めて財務に関する事務の執行や経営に係る事業の管理について監査を行うもので、監査計画で定めた対象課局ごとに実施しています。
- ・ **例月出納検査**……町の現金出納事務が適正に行われているか、保管する現金の現在高や出納関係諸表などの正確性などを検証するために毎月実施するものです。
- ・ **財政援助団体等監査**……町が補助金などの財政的援助をしている団体等が、その補助金等を適正かつ効率的に使用しているかを検証するため、所管課の定期監査の際に併せて実施しています。
- ・ **住民監査請求に基づく監査**……財務上の違法または不当な処理などが疑われる行為に関して、監査の請求があった場合に実施するものです。

吾妻工業専用地域から住民の生活環境を守る

建設部長

安全で安心な道路施設の充実を図るため、計画的・効果的に整備事業の推進に取り組んでいます



大島 菊夫 議員

一般質問の動画がご覧いただけます



問 町道3―254号線には歩道もなく危険。早急に歩道整備を。

建設部長 舗装部分以外の路肩部分を活用するなど、歩行者を含めた道路利用の状況を勘案し、整備手法について検討します。

問 町道53号線の舗装の損傷が早すぎるが、舗装の厚さなど計画設計が甘かったのでは。

建設課長 産業団地は一般的には区画が決まっており、大型車交通量の推測がしやすくなっていますが、当地域は区画が決まっていないため、交通量の推測が難しく、当初の見込みより大型

車交通量が1.8倍に増加してしまいました。今後は、調査設計に当たり細心の注意を払い進めていきます。

藤井地区の歴史教育資源の活用

問 藤井12号墳が町指定となったがどんな史跡なのか。

教育次長 古墳の前方部に石室構築部材と考えられる凝灰岩及び白色粘土の天井被覆層（石室を浸透水から保護する粘土層）が確認されています。また、古墳上層部及び石室周囲の地層断面に乱れがなく、人の手が入っていないと推測されることから、貴重な町の史跡です。

問 12号墳に地域住民の憩いの場として、四阿やトイレ、駐車場の整備を求む。

教育次長 史跡の敷地内に駐車場等の整備を行うには、文化財保護法に基づく許可が必要で、文化庁との協議、古墳周囲の詳細な調査、保

存活用計画等の策定が必要となり、相当な時間を要するため、現状では他の史跡と同様、案内看板を整備し歴史的価値を見学者や地元の方にお知らせしていきます。

吾妻工業専用地域からの悪臭

問 吾妻工業専用地域内では廃棄物の処理を行う会社は何社あるのか。

町長 地域内には約60の事業所があり、産業廃棄物中間処理及び一般廃棄物中間処理を合わせて16の事業所が廃棄物処理業の許可を受けています。

問 町には吾妻工業専用地域からの悪臭に関する相談や苦情はどれくらいあるのか。
また、悪臭の発生原因となる事業所は把握しているのか。その事業所に対してどのような対応や指導をしているのか。

町長 本年度は、現在のところ苦情等はありません。

また、悪臭発生の要因と想定される事業所は5社です。町では、廃棄物・土砂等埋立監視員が事業所周辺を巡回し、悪臭の発生について確認しています。悪臭発生の指摘があれば状況を確認し、県小山環境管理事務所へ相談し、県職員とともに事業所に立ち入り、施設の設備や廃棄物の保管、処理方法等の確認・指導を行います。



藤井地区の町道の状況

働きやすく働き甲斐があり選ばれる 壬生町役場に

町長 ワーク・ライフ・バランスの推進と
職員の健康管理を重点項目に掲げ取
り組んでいます



遠藤 恭子 議員



一般質問の動画が
ご覧いただけます

問 就労が魅力的であり、
意欲的に働きたいと考
える人材を増やすための働
き方改革の取り組みは。

町長 職員の健康管理では、
心身ともに健康であること
が能力発揮の礎であること
から、特にメンタルヘルス
対策の強化に取り組んでい
ます。日常的な声かけから
始まる未然防止対策や、長
期休暇からの復帰支援に至
るまで、職員に寄り添った
対策をしていくことは、職
員の安心感や信頼感に繋が
ることから、本町の働き方
改革を進めていくためには
欠かせないので、重要な取
組として対策の強化をし
ています。

問 職員自らアイデアを
出し、業務改革に取り組
める環境づくりをどのよ
うに行っているのか。

町長 職員から新たな取組
や業務改革・DX推進に資
する提案を募集し、ソフト、
ハード両面から提案があり
ました。提案の有効性を踏
まえ、実現の可能性の検討
を行っています。

職員が気軽に業務改善の
提案ができれば様々な場面
で意見の発信しやすい職場
づくりに努めます。

問 デジタル化やDXに
関連する業務や情報共有
を効率的に行うことで職
員の負担軽減を図ってい
るのか。

町長 デジタルツールを効
果的に活用することで職員
負担の軽減を図ることがで
きるため、定期的に理解度
に合わせた研修を行うほか
外部講師を招いた講演会
の開催など、庁内一体でDX
推進に向けた体制を築き、
機運醸成を図っています。

総合政策課長 AIチャッ
トボット等の導入は簡略化
に非常に有効な手段と考
えていますことから検討を
進めています。

問 職員の人事評価制度
の結果と反映、業務を行
う上での職員数について
の見解は。

町長 施策方針に沿った各
所管の組織目標を共有し、個
人目標を設定することから
職員の能力開発・意欲向上
のほか、効果的かつ効率的
な行政運営の向上と組織の
活性化等を目的としていま
す。現在の正職員数は25
1名で、昨年度より7名の増
員です。効果的かつ効率的な
人員配置については今後も検
討し対応していきます。

問 本町のカスタマーハ
ラスメント対策は。電話
の録音ガイダンスの導入
や、独立した弁護士等、
第三者機関の相談決定処
分の権限を持つ窓口設置
への考えは。

町長 カスタマーハラスメ
ントも含めた不当要求行為
等への全般的な対応マニ
ュアルを作成しているところ
です。

総務課長 現在、音声ガイ
ダンスの対応はしていま
せんが、今後は何かしらの対
応が必要かと考えています。
様々なハラスメントに関し
ては、総務課の庶務人事係
に相談してもらい、対応し
ていきます。



STOP! カスタマーハラスメント
(国のポスターより引用)

農業従事者の現状と今後

町長 高齢化と後継者不足が深刻であり、効率的な農業経営の実現が必要です



鈴木 理夫 議員

一般質問の動画がご覧いただけます



問 町内農業従事者の年齢構成は。

町長 町の自営農業従事者1千116人の年齢構成は、40歳未満が58人、40代から50代が188人、60代が349人、70歳以上が521人であり、70歳以上の割合が約47%を占めております。

問 新規就農者の人数と作目は。

町長 認定新規就農者数は、令和3年度は3人で全員がイチゴ栽培、令和4年度は2人でイチゴ栽培が1人、ネギ栽培が1人、令和5年

度は3人で、イチゴ・ニラ・イチジクの栽培がそれぞれ1人ずつです。近年、認定新規就農者数は3人程度で、作目はイチゴ栽培が多い状況です。

問 作目別の販売額と農家戸数は。

町長 町の産出額推計値は全体で55億2千万円です。米が9億6千万円、麦類が8千万円、花卉が4億円、畜産が9億3千万円、野菜類が30億1千万円です。野菜類のうちイチゴが17億9千万円、トマトが2億5千万円です。

町の農家戸数は781戸で、作目別では飼料用を除く稲が638戸、麦類が99戸、花卉類が22戸、畜産が13戸、野菜類が250戸です。

問 農業公社を設立し地域農業の支援を。

産業生活部長 将来の農地の機能維持のためには、農

地の大規模化、集約・集積が重要です。引き続き圃場整備事業を推進し、将来の担い手確保として民間組織、そして公設農業公社という手法も視野に入れながら、農地を守る取り組みを進めます。

快適な職場環境

問 職員の少ない出張所でのカスタマーハラスメント対応は。

副町長 現在の出張所の職員数は、稲葉出張所が2人、南犬飼出張所が4人であり、本庁から出張所への応援体制を取っています。また、本庁や公民館等の周辺の施設との連携体制を強化し対応します。職員が孤立することのないように、マニュアルの整備等を実施します。



米の収穫

女性 性が利用しやすい相談体制は いかがか

住民福祉部長

**全ての女性が相談しやすい体制を整え、
課題の解決を図ります**



小牧 敦子 議員



一般質問の動画が
ご覧いただけます

問 「困難を抱える女性の支援」のための計画策定は。また、県の基本目標では、全ての市町に設置が挙げられている支援調整会議の設置及び相談員の配置はいかがか。

住民福祉部長 県の基本計画では「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」の施行3年以内に全市町に設置することを目標としており、最適な相談・支援体制の在り方を研究し、設置についても調整をしたと考えています。

問 子宮頸がん検診受診率と受診しない主な理由は。また、5年ごとのHPV検査単独法の導入の考えと自己採取HPV検査導入の可能性は。

住民福祉部長 令和4年度受診率は24・8%、1千216人です。受診しない理由は「心配なときはいつでも医療機関を受診できるから」が32・8%で最も高くなっています。

HPV検査単独法の導入については、地域医師会及び検診実施機関等の関係者の理解と協力、住民への普及啓発など、実施体制の整備を含め慎重に進めていきます。

自己採取HPVの検査導入については、まずは、子宮頸がん検診を受ける動機づけとなるよう、セルフケアとしてHPV自己採取法があるという事と、陽性になった場合の相談先や受診についての啓発を図っていきます。

自然災害への備え

問 上水道の耐震化緊急点検の対象施設と進捗状況は。また、基幹管路の耐震化適合率はどのようか。さらに、内水ハザードマップの配布時期はいつ頃か。

総務部長 町地域防災計画で重要と位置付けられている107か所、水道管路の延長は5万1千553mで、うち耐震適合性を有する水道管路の延長は3万7千447m、率に換算しますと72・6%です。

下水道課長 令和7年度に内水氾濫想定区域図をつくり、関係部署と調整を図りながら内水ハザードマップを作成し、令和8年度の公表を目指します。

問 障害者支援福祉施設の災害時情報共有システムの運用状況と災害情報報告を受けた町の具体的な対応は。また、公共スポーツ施設利用者への雷の注意喚起は。

総務部長 施設の管理者等から報告された被災状況については、国・都道府県、市区町村において、個別あるいは集約的に把握することが可能となり、迅速かつ効果的な災害対策に活用されます。本町においても、システムの有効活用を図ります。

落雷の注意喚起は受付窓口や町公式ウェブサイトを通じて、施設利用者、行事主催者や事業者等に対し、注意喚起を図ります。



「あなたのミカタ」は、DVや性暴力といった困難な問題を抱える女性のための支援ポータルサイトです。（厚生労働省より）

小 学校体育館へのエアコン設置計画は立っていますか

教育次長

既に小学校の体育館へのエアコン設置について国や県へ要望活動を進めています



田部 明男 議員

一般質問の動画が
ご覧いただけます



問 新たに生活保護を受給したが部屋にエアコンがない場合、毎月の保護費のほかに、支給されますか。また、壊れた場合の買い換え費用は、どのようなか。

健康福祉課長 特別な事情がある場合に限り、生活保護費として一定の範囲内で支給することは可能とされています。町においてはエアコン購入や買換え費用の補助はございません。

問 高齢者や低所得者に対し、エアコンを稼働させるための電気料金を補助してはいかがか。

健康福祉課長 慎重な調査研究が必要かと考えております。現時点では、町の補助制度はございません。

障がい者医療費助成を利用しやすく

問 障がい者の医療費助成も現物給付にすべきだと考えるがいかがか。

健康福祉課長 新たな財政負担が生じるため、慎重に調査研究する必要があると考えています。

問 償還払いを現物給付にするよう、県に対して要望すべきだと考えるがいかがか。

健康福祉課長 制度の持続可能性を考慮し、慎重な議論も必要となることから、

県内各市町の動向を注視し考えます。

子ども医療費無償を守って

問 子ども医療費無償化への国からのペナルティをはね返すよう求めるがいかがか。

住民福祉課長 国・県の方針と子育て世帯の利便性を慎重に検討し、国民健康保険制度の安定した運営や維持に努めていきます。



壬生中学校第2体育館に設置されたエアコン

地域公共交通計画の展望は

建設部長

より多くの方に利用いただける
公共交通にしていきたい



落合 誠記 議員

一般質問の動画が
ご覧いただけます



建設部長

①コミュニティ

バスの運行により、町民が快適で安全に利用できる移動手段が増えたこと、また、デマンドタクシーも登録者数が増加していることから、

問

①壬生町地域公共交通計画の達成状況等実績を伺う。
②デマンドタクシー「みぶまる」とコミュニティバス「みぶーぶ」の収支率及び公的資金投入額の推移、利便性向上への取り組みは。
③目的達成に向けハード及びソフト施策が設定されているが。

問

①少子化社会対策大綱に標榜された施策に対する実績は。

②子ども子育て支援制度の市町村主体事業の進捗状況と展望を伺う。

出産・子ども子育て
支援策を問う

一定程度の目標は達成したと考えます。
②収支率の減少及び公的資金の増額の要因は、コロナの影響や人件費・燃料等の高騰により委託料を増額したことが考えられます。コミュニティバスは、令和6年4月から7月までの利用者が、令和5年の同時期の1・7倍に増加しているが、さらなる利用促進に向けたPRや運行ダイヤ・ルートの改正等を実施し、収支率の改善及び公的資金投入の削減を図りたいと考えます。
③コミュニティバスが令和6年10月1日から本格運行となり、同日より運転免許自主返納者に対し、無料利用券を配布します。

住民福祉部長

①結婚支援

については、結婚支援センターの登録料を助成しており、7月末で36名が登録しています。住宅取得や賃貸等費用助成の結婚新生活支援事業では昨年度9件の助成を行いました。妊娠・出産への支援は、昨年度、不妊・不育治療費助成を26件行い、10件が妊娠に繋がりました。産後ケアの利用も3件ありました。

おもちゃのまち地区
等の再開発を問う

②本町は待機児童数ゼロであること、また、将来的な保育ニーズの増大も見込まれていないため、国の支援等については要件を満たさないものが多く、活用できない状況です。引き続き、待機児童ゼロを維持するとともに、国の支援等を注視します。

問

空き店舗が顕在化するおもちゃのまち地区の再開発について、様々な検討がされていると聞か

が把握は。

課題1：地域の移転など「人の流れの変化」を踏まえた「新たな交通体系」の検討
庁舎移転に伴う新路線整備やデマンドタクシー「みぶまる」の利便性向上に対するニーズは高く、対応が可能な検証が必要がある。

課題2：将来的に増加する「高齢者の移動手段」の確保
移動が困難となる高齢者（交通弱者）が増加し、免許返納等が進むことを踏まえ、公共交通を利用した移動へシフトするとともに、需要増加へ対応するための方策を検討する必要がある。

課題3：既存の公共交通サービスを向上させ「利用促進」を図る
現在、移動のニーズが高い施設へのアクセスを確保するとともに交通結節点となる施設においては、他の交通機関との連携・乗り継ぎ・待合環境整備等によって利用促進が図れるかを検討する必要がある。

地域公共交通の課題（壬生町地域公共交通計画より）

産業生活部長 おもちゃのまち地区の再開発については、現時点で町が把握している情報はありませんが、おもちゃのまち地区の活性化が図れるよう、都市計画の用途地域を第一種住宅地域から第二種住宅地域へ変更したところもあります。

閉 会 中 の 継 続 調 査

定例会初日の本会議において、委員長が調査の報告をしました。

決算審議

定例会概要

総括意見書

一般質問

委員会活動

トピックス

教育民生常任委員会

壬生東小学校の先進的な授業の 取り組みについて

ICTを活用した授業の様子を視察しました。

取り組みの概要

壬生東小学校では、すべての子どもたちの可能性を最大限引き出すことを目指し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るため、紙ベースによる一斉授業だけではなく、ICTを活用した授業を行っています。

授業の内容

算数の授業では、前半は一人一人の理解度に合わせた問題がタブレットに出題され、個人で問題を解いていました。後半は、先生に質問をしたり、生徒同士で教え合ったり、ひとりで問題を解いたり、それぞれの方法で学習していました。

社会の授業では、グループで北海道や沖縄について紹介するプレゼン資料をタブレットで作成し、生徒同士で発表し合っていました。

調査を終えて

「学力」は数値で測定可能ないわゆる「学力」である「認知能力」と数値で測定不可能な「意欲」「協調性」「粘り強さ」「忍耐力」「計画性」「自制心」「創造性」「コミュニケーション能力」「メタ認知」等の「非認知能力」があります。



今回調査したようなICTを活用した授業により、「認知能力」とともに「非認知能力」を引き出すことができるものと感じました。

建設経済常任委員会

道の駅みぶリニューアル工事について

道の駅リニューアル工事が目的に見合う内容が、事前に調査しました。

工事内容の調査

●一階の加工所では、弁当や総菜・パン・ジェラート等の店頭品を作るため、一般の町民に開放することは考えていません。二階事務室は、出店される方の打合せや連携の場と考えています。

●県内には多機能トイレを3基整備しているところは他にないことから、多機能トイレが多くあることを中心に、日本一を標榜できるよう目指します。

●これだけP.Aに接した道の駅は全国にも珍しく、その為、現在ネクスコと町、両方のトイレがあります。ネクスコとしても共同で整備することで負担が軽減できるため、初めから理解を頂いています。

調査を終えて

当リニューアル工事は、竣工後の利用客数の状況を随時確認し、必要があれば再度調査することも視野に、引き続き検証を行っていききたいと思っています。

また、継続的に集客を図るための工夫・問題点・改善点などの、知見



を得るため、他県、他市町の施設の視察なども積極的に行っていきます。

研修レポート

7月8日と7月9日の2日間、議会運営委員会・議会広報特別委員会が合同により、行政視察研修を実施しました。今年度は、長野県佐久穂町にて「広聴活動（お出かけ議会・議会報告会）」、長野県大町市にて「議会基本条例」についての取り組み等を学びました。

議会広報特別委員会

議会広聴活動の様々な運営方法の研究、住民参加の工夫

長野県佐久穂町

委員長 榎井 将太
副委員長 後藤 節子
委員 大山 博
" " 小川 律男
" " 中川 和典

長野県佐久穂町議会にて、議会の広聴活動について視察研修を行いました。

本研修は、佐久穂町議会の議会広聴会の運営方法と住民参加の促進を学び、本町議会での広聴活動に反映することを目的として行われました。佐久穂町議会では年に数回「議会報告会」と「町民との意見交換会」を実施しています。

佐久穂町の議員数名と座談会を実施し、議会広聴の意義や運営の課題について意見交換しました。また、議会と住民との間のコミュニケーション強化策についても話し合いました。報告会の中でのウエルカムコンサート、リラックスタイム等を取り入れ、町民からも評判が良いと伺いました。

このような設営をすることで住民も気軽に参加できるという意見があら

りました。

議会広聴会の透明性と効果的な住民参加の方法について具体的な事例を通じて学ぶことができました。

本研修を踏まえ、壬生町議会における議会広聴の改善に向けて、広聴会の進行や運営、住民の積極的な参加を引き出すための工夫が必要であると感じました。



議会運営委員会

議会基本条例について

長野県大町市

委員長 赤羽根信行
副委員長 落合 誠記
委員 鈴木 理夫
" " 坂田 昇一
" " 玉田 秀夫
" " 榎井 将太

本町ではまだ制定されていない「議会基本条例」について、先進地である長野県大町市において、視察研修を行いました。

大町市では、平成22年に本条例を制定しており、議員・執行部の意識の変化や、議会・議員の政策立案及び提言への取り組みについて、意見交換を行いました。

条例を制定したことで、常任委員会から執行部への提言や要望書の提出、決算審査特別委員会、市長への事務事業評価結果報告が行われるなど議会の活性化が進んだこと、本町でも導入している「一般質問のネット配信」や「ペーパーレス化」等、これまでの取り組みをさらに発展できたことなどを伺いました。

また、一般質問や質疑の中で、論点の明確化を目的に質問者に問い返すことができる「反問権」についても同条例で定めるなど、議論を深めるための規定も設けられていました。

住民とともに歩む議会を目指し、豊かなまちづくりの実現に寄与するため、議会の基本理念・運営等の基本的事項を定め策定したことなど、今後、取り組みなければならぬ課題も見えました。本研修を機会に、本町議会の活性化を進めていかなければならないと切に思いました。



TOWN VOICE

町民の方の声を
紹介します

大 好きな野球をするために、
町内や小学校のグラウンドを開
放してもらってます！
子どもたちがとても
スポーツに取り組み
やすい町です！

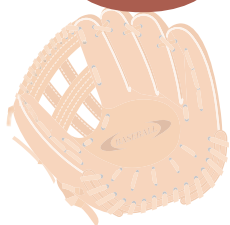
壬生町の
ここが好き



こんな町に
なってほしい

壬生レッド

小 学生がいろいろなスポー
ツに挑戦できる環境を整えて
ほしい。スポーツで町を盛り
上げてください！



議会広報特別委員会



小川委員 大山委員 中川委員
後藤副委員長 楢井委員長

壬生ふるさとまつりに参加

8月24日、町総合公園陸上競技場において「壬生ふるさとまつり」が開催されました。当日はあいにくの雨模様で、残念ながら「かんぴょう音頭」は中止となりましたが、多くの来場者で賑わいました。まつりの終盤には、約2000発の色鮮やかな花火が打ち上げられ、会場から大きな歓声が上がっていました。



長野県大町市議会議員が来庁

7月31日に長野県大町市議会総務産業委員会の皆様、大町市職員の皆様が行政視察に来庁し、「防災道の駅について」をテーマに担当課より説明の後、活発な意見交換が行われました。また、道の駅みぶの現地見学も行いました。



編
集
後
記

今年も早いもので、猛暑・酷暑と言われた夏も終わり、もうすぐ立冬。残すところ僅か二か月となりました。

今年は、一月一日の能登半島地震に始まり、地球温暖化の影響による集中豪雨や台風等の風水害、自然災害に日本各地で苦しめられた一年でした。

自治会として緊急時に迅速に対応するために「自主防災組織」を立ち上げ、自治会長・防災士を中心に防災訓練を通し地域住民が協力し助け合う「共助力」が益々重要になると思います。

昔から「遠くの親戚よりも近くの他人」と、ことわざがある様に、今こそ、普段からの近所付き合い、自治会活動を通して地域の輪を広げ、防災活動や年末にかけて防犯活動にご協力をお願い致します。

小川
律男